

2020年  
4月10日

No.257

# さざなみ

〒520-2141  
大津市大江6丁目23-24

さざなみネット  
(金融労連・全国金融産業労働組合滋賀分会)  
TEL・FAX 077-545-5154

## 暮らしと経済を破壊したアベノミクス

3月7日、近畿地協春闘学習会で行われた中田進氏による講演「2020年春闘をめぐる情勢」の資料により、春闘をめぐる情勢を見てみました。

- ・日本だけが賃金ダウン。1997年を100として2018年は90.1。(グラフ→)
- ・実質賃金は27万円(6%)減少したが、大企業の内部留保は1.6倍に増加(グラフ↓)

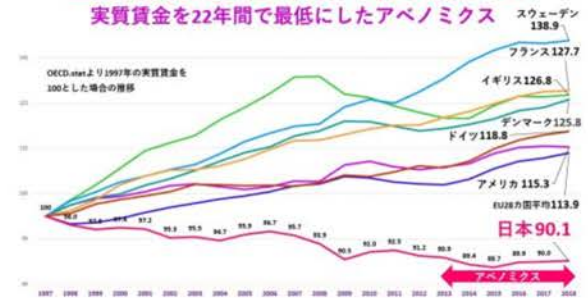
### 大企業の内部留保は1.6倍増の449兆円 実質賃金は27万円減(この10年間)



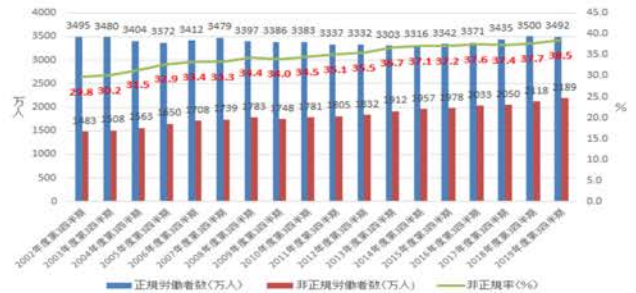
- ・正規労働者は3万人減少、非正規労働者は706万人増加、非正規率は過去最高の38.5%(グラフ→)
- ・日本の人件費の割合(総資本コストに占める総人件費の割合)はOECD36カ国で最低(グラフ→)

### 日本だけ賃金さがり続けている

実質賃金を22年間で最低にしたアベノミクス

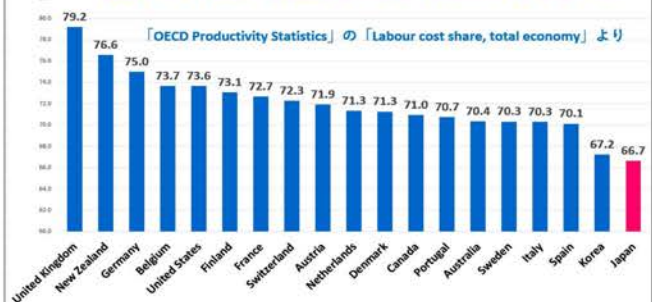


### 正規労働者は減少、非正規労働者は706万人増加 非正規率は過去最高の38.5%



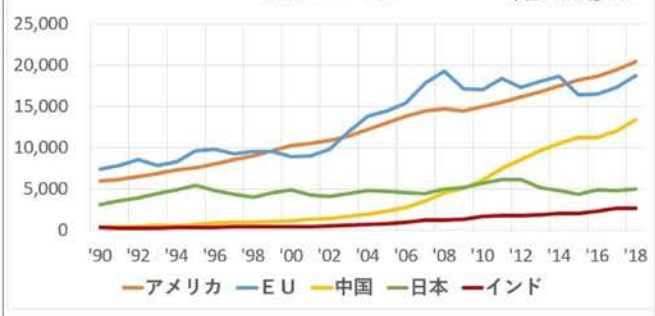
### 日本の人件費はOECD36カ国で最低

総資本コストに占める総人件費の割合(各国2016年、単位:%)



- ・名目GDP 日本だけ横這い  
アメリカ・EC・中国 大幅に増加(グラフ↓)

名目GDP推移 単位:10億ドル



非正規雇用の正規化、最低賃金の引き上げ、大幅賃上げによる個人消費の拡大こそ、経済再生への道



ムラサキハナナ 岩波 美智子さん 画

# 今こそ持続可能な地域経済・社会を

新型コロナウイルス感染症が大問題になっています。感染拡大を防ぎ、命と健康をどう守るか、暮らしと営業、子どもと教育をどう守るか。緊急課題になっています。

感染者の急増、マスクや消毒液の不足、材料が入らず仕事がストップ、感染爆発、医療危機など、ニュースを見ていると、これからどうなるのか不安になってきます。

地震や豪雨・台風など大災害の時代に入っています。今回の新型コロナ感染症を含め災害が起きると、いつも身近な地域経済・社会が重要なことを改めて知らされます。

しかし、いま地域経済の担い手である事業所や農家・地方自治体が大幅に減り、地域経済・社会が「持続可能性の危機」に陥っています。

多国籍企業の利益を最大化する「経済のグローバル化」が推進され、工場閉鎖、海外移転が行われ、積極的に輸入を増やす通商政策が取られてきました。そのために国内の商工業や農業、地場産業の空洞化が進みました。また、平成大合併と三位一体の改革で自治体の構造改革が行われ、税制と社会保障の一体改革で中小企業経営・農業経営が持続できなくなりました。その結果、とりわけ条件が不利な地域から「人間の再生産」が不可能になり、少子・高齢化による人口減少が広がっています。

地域には大事な機能があります。1つ目は、生活必需品の供給を行い、雇用を維持する経済的機能。2つ目は、少子・高齢化社会に必須の人間を大切にする地域独特の福祉・教育機能。3つ目は、環境保全・地域生活文化機能です。

地域産業の土台は、人間が生きていくうえで欠

かせない衣・食・住にかかわる生活必需品産業で、地域密着型の中小企業による「地産・地消」型産業です。

今こそ、地域間格差の是正機能を再建し、「グローバル国家」路線の是正・転換を図り、自治体などによる新たな地域政策の広がり、ローカル循環経済を創り、地域から日本経済を立て直す時期ではないでしょうか。

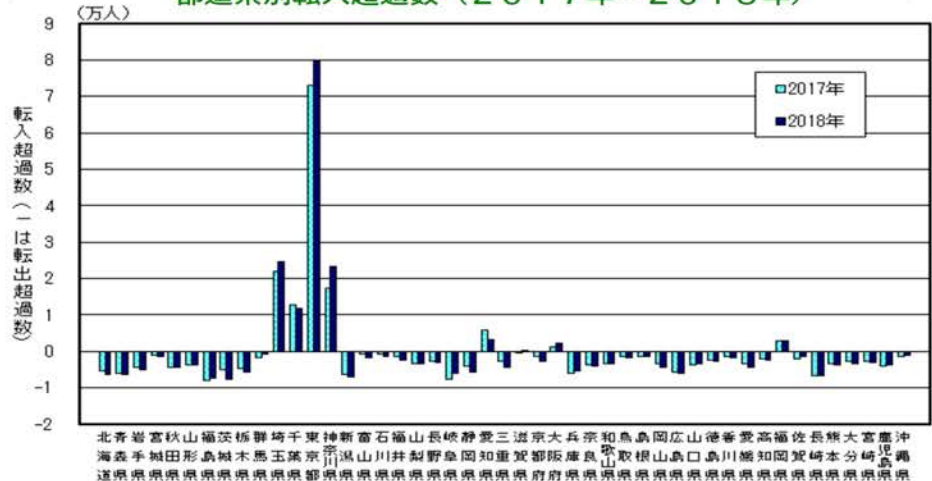
## 地方銀行にとっても地域経済の再建が課題

いま地方銀行の経営のあり方が問題になっています。地方銀行は「預貸業務」両面で業容を拡大させてきましたが、「異次元の金融緩和」政策に伴い貸出金利息が減少し、コア業務純益が一貫して低下傾向になっています。

地方銀行の「稼ぐ力」を伴った「持続可能なビジネスモデルの構築」は容易ではありません。地方銀行が基盤とする地域経済の衰退によって、地銀を取り巻く経営環境がなくなって厳しい状況に置かれているからです。

地方銀行の経営にとっても、いまこそ持続可能な地域経済・社会を作っていくことが求められています。

都道県別転入超過数（2017年・2018年）



ひととき

毎日コロナウイルスの報道から目が離せない。コロナショックは私たちにとって何を意味するののか。

4月4日に、E・TV特集「緊急対談 パンデミック(世界的流行)が変える世界」が放映された。歴史から何を学ぶか」が放映された。パンデミックとなった新型肺炎。人類はこれまで大きなチャレンジを突き付けられている。これから社会はどう変わるか、ヤマザキマリ・漫画家、磯田道史・国際文化研究センター准教授、山本太郎・長崎大学教授、河岡義裕・東京大学教授が対談した。

野生動物から人間へ感染したウイルスの歴史、人間の経済優先思想がウイルスを招いた、大事なものは「経済」か人の「命」か?、いま必要なのは「とにかく死ぬな!」という言葉、「想像力」は「情報」にまさる、「国」を守るといふ意味が変わった、などについて分かり易く説明された。

来週には「パンデミックが変える世界」海外の知性が語る展望」が放映される。更に学習したい。

